

学びと実践の輪をつなぐ 社会福祉協議会

より幸せに生きられる社会をめざして、福祉活動の重要性がますます高まっています。そのためにも、より多くのことがらを学び、実践で一層深めることが大切です。

いま、社会福祉協議会では、生涯学習に重点を置き、学びと実践の輪をつなぐ活動を推進しています。

心ゆたかな人づくりとぬくもりのある地域づくり

救急法を学ぶボランティア



○きめこまかな福祉

- ・ホームヘルプサービス
- ・敬老訪問
- ・布団丸洗い乾燥
- ・配食型給食サービス
- ・老人、障害者スポーツの奨励

○活動のひろまり

- ・社会福祉大会
- ・福祉団体の育成
- ・福祉バスの活用
- ・社協だよりの発行

○力をあわせるボランティア

- ・研修会、講座等
- ・ボランティア推進校（全小中学校）
- ・登録、相談、斡旋
- ・団体の育成

○心配ごとの相談

- ・金曜日午後、文化会館

○みんなのたすけ合い

- ・赤い羽根共同募金
- ・歳末福祉バザー
- ・歳末たすけ合い



知識と経験を生かす給食サービス

自分をつくり 都留をつくる 学びのまちづくり

学ぶ

「民生・児童委員協議会」

これからの社会福祉は、地域の人びとが参加する「地域ぐるみの社会福祉」が大きな柱となっています。

そのためには、社会福祉への関心を高め、参加を促進し、行政を補完してきめ細かいサービスを提供するなど、民生委員の役割は一層重要性を増しています。

また、児童福祉の理念の実現に向けて、連絡・相談・援護や健全育成のための地域活動等、さまざまな活動を進めている児童委員への期待もますます大きくなっています。

児童委員は、民生委員が兼務していますが、平成六年一月から、児童福祉関係機関と児童委員との連絡・調整を行うため、主任児童委員が配置されています。

民生委員・児童委員協議会は、各委員の連帯による活動の充実をはかっていますが、平成八年度からは、目的に「（委員の）資質の向上につとめ…」を掲げるという規約改正を行い、学んで実践する団体をめざし、各種研修活動に力をそそいでいます。

